

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2015.12.10◆◆◆

2015年は“爆買い”、“クルーズ100万人の達成”
ークルーズによる四国の地域振興の期待ー

今年の流行語大賞に「爆買い」が選ばれ、そして今月8日には、クルーズ船による訪日外国人が100万人を達成したことが発表されるなど、今年はクルーズ振興によって、とても記憶に残る年になったと思います。

クルーズ100万人というのは、訪日外国人2000万人時代の実現を掲げる「観光立国実現に向けたアクションプラン2015」でも目標の一つとしており、これを5年早く達成したことになるからです。

四国地方も、今年クルーズ船が国内クルーズも含め36回も寄港しています。中国・九州地方などと比較すれば寄港数は少ない方ですが、四国には、瀬戸内海などの美しい自然、お祭りやお城などの魅力ある文化と歴史、そして豊富な海の幸・山の幸があり、これを考えれば、今後も、更なる寄港増が期待されます。

クルーズは観光振興だけでなく、地域の経済効果の観点からも魅力があります。航空機のような手荷物の重量制限がないため、旅行者は「爆買い」が容易にできます。しかも、大型クルーズ船であれば、2,3千人の旅客が乗船しているので、一回の寄港で大きな経済効果が期待できます。

中国の訪日客などに地域の魅力ある地場産品を知ってもらい、これを輸出につなげることができれば、東アジアの成長力を地域に呼び込むことも期待できます。

観光バスを利用して、港から離れた地域を訪れる旅客も多数います。8の字ネットワークの整備が進めば、より広い範囲を行動することが可能になります。

このような関係から、港をもたない岐阜県や奈良県も含む、全国114の自治体・港湾管理者が「クルーズ活性化会議」に参画し、クルーズ船社の寄港誘致に向けた商談会の開催などに協力して取り組んでいます。

加えて、今年4月1日より、ふ頭での臨時の免税店の出店手続きも簡素化されたので、クルーズ客が地域の農林水産物や民芸品を購入しやすくなりました。

国土交通省も、クルーズ船社に寄港地の観光情報を提供するウェブサイト (<http://www.mlit.go.jp/kankochu/cruise/jp/>) を設置、充実を図るなど、自治体の皆様と連携してクルーズ振興に取り組んでいます。

四国の“全ての市町村の皆様”にとって、クルーズは地域振興の有力な手段になると思います。是非、関心を持って取り組んで頂けたらと願っております。

皆様のご協力・ご支援に感謝すると共に、来年もどうぞよろしくお願い致します。

四国地方整備局
港湾空港部長 安部 賢

■国土交通省国土技術研究会で優秀賞を受賞！！

【企画部 企画課】

11月12日・13日の2日間、国土交通省中央合同庁舎2号館において、「平成27年度国土交通省国土技術研究会」が開催され、「自由課題（イノベーション）部門」において研究が特に優秀なものとして認められた道路部 道路工事課小原係長が『優秀賞』を授賞されました。

四国地方整備局から選出された5名の皆さんは、それぞれ卓越したプレゼンテーション力を発揮され、物怖じすること無く、十分に研究成果が伝わる発表を展開されま
ページ(1)

した。5名の皆さんの発表課題は以下のとおりです。

《四国地方整備局から選出された発表案件》

- ・イノベーション部門
「道路構造物における長期品質確保の取り組みについて」
四国地方整備局 道路部道路工事課 小原係長
- ・アカウンタビリティ部門
「波介川河口導流路の整備効果について」
四国地方整備局 高知河川国道事務所 調査課 新谷係長
- ・一般部門（安全・安心）
「一般国道11号吉野川大橋鋼床版亀裂補修の経過報告（四国の直轄として初めての取り組み）」
四国地方整備局 徳島河川国道事務所 徳島国道出張所 長楽係長
- ・一般部門（活力）
「高知南国道路の事業損失抑制に向けた工事の取り組み」
四国地方整備局 土佐国道事務所 工務課 西原技官
- ・ポスターセッション部門
「徳島海陽沖GPS波浪計の再設置について」
四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 工務課 吉川技官

研究会では、各地方整備局を始め国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人 土木研究所等から推薦を受けた自由課題66課題（イノベーション部門18課題、アカウンタビリティ部門10課題、一般部門38課題）、建設技術研究開発助成制度成果報告会12課題、指定課題4課題及びポスターセッション12課題の発表がありました。

初日は一般部門〈安全・安心、活力〉、イノベーション部門、ポスターセッション部門、建設技術研究開発助成制度成果報告会、2日目にアカウンタビリティ部門、ポスターセッション部門、指定課題、建設技術研究開発助成制度成果報告会、特別講演、表彰式が行われました。

また、最近ニュースで大々的に取り上げられた国産旅客機「MRJ」の開発に係わった三菱重工業（株）特別顧問の川井昭陽氏が「国内航空機産業基盤拡大に向けて」と題して特別講演を行い、「航空機産業が地域活性化の一因となれば」と熱弁を奮っておられました。

■三木中学生が車いす体験

【企画部 企画課】

香川県の三木町立三木中学校の3年生30人が、高松サンポート合同庁舎で車いす体験を行いました。

これは、総合的な学習の一環で、「快適な道路空間の形成」を学ぶため、合同庁舎にお越し頂いた学生に、バリアフリーの講義だけではなく、体験してもらうために車いす体験を取り入れたものです。

まず、1階で四国技術事務所・品質調査課長から車いすの安全な乗り方についてレクチャーを受け、車いすで講義会場まで移動しました。点字ブロックの段差、エレベータ内での回転の難しさなど、車いすの不自由さを身をもって体験してもらいました。

講義は、道路部道路管理課・建設専門官が「快適な道路空間の形成」について、歩行空間のバリアフリー化、無電柱化を題材に行いました。

生徒さんからは、「車いすは点字ブロックの小さな段差でもお尻が少し痛くなる。でも点字ブロックがないと目が不自由な人が困るので、みんなが気分良く生活するのは大変だなと思いました。」、「無電柱化で道の広さが全然違うなと思いました。」、「車いすは2cmの段差でも進まないことが分かりました。」など、たくさんの感想を頂きました。

■もっと女性が活躍できる建設業を目指して
～建設系女子大学生による安全パトロールの開催～

【徳島河川国道事務所】

建設業は、一般的に“男性の職場”というイメージが定着しており、女性が働くことを前提とした職場環境が整備されていない状況です。そこで今回、そういった課題解決に向けた取組を推進していくことを目的に、平成27年10月30日に徳島大学工学部建設工学科3年生7名、建設会社5名、事務所職員3名、合計15名の女性に参加して頂き、安全パトロールを開催しました。

当日は、事務所で安全パトロールを行う工事現場の事前説明を行った後、吉野川、旧吉野川の工事現場に行き、女性用トイレの整備状況、作業通路の安全管理状況等について、チェックリストを元に確認を行いました。普段男性目線で見えていない所を女性がチェックすることにより、これまでに挙がってこなかった“分煙の徹底、休憩所の設置”などの改善点が多くありました。

パトロール終了後、事務所で行われた意見交換会では、「親元を離れて、育児をしながら働く事ができるのか」、「女性採用は企業として不利益にならないか」など、大学3年生ということもあり、就職先としての建設業界の状況や出産・子育てなどの問題に関する意見等について活発な意見交換を行うことができ、質問者・回答者双方が問題意識を共有できる良い機会となりました。

今回のパトロールを通じて、女性が活躍できる建設業にするためには「工事現場の安全が保たれていること」、「トイレや更衣室が使いやすく清潔に保たれていること」、「長時間労働を縮減すること」などの必要課題がみえてきました。この課題が改善されることは、女性だけでなく男性にとっても大きなメリットにつながります。

男女問わず働きやすい建設業にするために、これまでの土木に対するマイナスイメージを払拭し、将来の建設現場における職場環境のさらなる改善に貢献するべく、努力していく必要があると感じました。

■スポーツイベントと合わせた津波避難防災学習について

【港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課】

11月7日(土)高知県黒潮町県立大方高等学校体育館にて、鯨カップJrビーチバレーボール大会2015が実施されました。体育館でビーチバレーボールと思われるでしょうが、本来は黒潮町の鯨公園でビーチバレーボール大会が開催され、同時に津波避難訓練も実施する予定でした。実施されれば『四国初』の海辺イベント時での津波避難訓練でしたが、あいにくの雨のため、体育館に場所を移しての大会開催となりました。大会には、特定非営利活動法人日本ビーチ文化振興協会から朝日健太郎さんと佐伯美香さん2名のオリンピックを招いて、子供たちとチャレンジマッチを行うなど大会を大いに盛り上げていただきました。

お昼休みの時間を利用して、大会参加者に対して津波避難に関するビデオ学習やクイズを行い、津波に対する避難のあり方等について学習していただきました。また、子供たちの憧れである2人のオリンピックにも参加していただいたとあって、子供たちは真剣に防災について学習していました。

朝日健太郎さんからは、「全国でもスポーツイベント時における防災学習というのは、私は初めての経験であったが、防災とスポーツの組み合わせは非常に有効でありました。」と話していただきました。

また、地元の婦人会から炊き出しをして頂いたほか、屋外の展示ブースでは、高知港湾・空港整備事務所により造波模型や展示パネルの設置を行い、多くの方に啓発活動を行うことができました。

四国地方整備局では、一人でも多くの方に津波避難防災について理解していただくために、今後もこのような取り組みを行っていきたいと思います。

■《この1年をかえりみて》

平成27年も残り少なくなりました。
四国地方整備局におきましても、この1年様々な出来事がありました。
その主なトピックスをまとめてみました。

○局幹部の交替

局長

(新) 石橋 良啓
(5月16日付) 〈国土交通省大臣官房より〉
(旧) 三浦 真紀
(5月16日付) 〈国土交通省大臣官房へ(同日:辞職)〉

次長兼総務部長

(新) 齋藤 哲郎
(7月31日付) 〈日本下水道事業団より〉
(旧) 吉田 恭
(7月31日付) 〈国土交通省大臣官房へ(同日:内閣官房へ)〉

建政部長

(新) 渡邊 裕
(4月1日付) 〈国土交通省道路局より〉
(旧) 丸尾 浩
(4月1日付) 〈国土交通省大臣官房へ〉

港湾空港部長

(新) 安部 賢
(5月1日付) 〈国土交通省港湾局より〉
(旧) 東島 義郎
(5月1日付) 〈国土交通省港湾局へ〉

次長

(新) 菅沼 史典
(7月31日付) 〈国土交通省国土技術政策総合研究所より〉
(旧) 守屋 正平
(7月31日付) 〈中部地方整備局へ〉

企画部長

(新) 畠中 秀人
(7月1日付) 〈滋賀県より〉
(旧) 石井 一生
(7月1日付) 〈国土交通省大臣官房へ(同日:辞職)〉

河川部長

(新) 西井 洋史
(7月31日付) 〈国土交通省水管理・国土保全局より〉
(旧) 今井 一之
(7月31日付) 〈国土交通省水管理・国土保全局へ〉

営繕部長

(新) 山本 徹
(4月1日付) 〈衆議院事務局より〉
(旧) 小山 眞美雄
(4月1日付) 〈中部地方整備局へ〉

- 平成27年度新規採用職員入局式 (総務部)
- 「四国八十八景プロジェクト」が始まりました (企画部)
- 「空家等対策の推進に関する特別措置法」の全面施行 (建政部)
- 「水防法等の一部を改正する法律」の全面施行 (河川部)
- 今年の洪水対応について (河川部)
- 四国で初めて高速道路ができて30年を迎えました (道路部)
- 地方創生の核となる「道の駅」を重点的に支援する取り組みを始めました (道路部)
- 出入管理情報システムが本格運用開始 (港湾空港部)
- 高松サンポート合同庁舎2期(南館)の整備に着手しました (営繕部)
- 吉野川流域生態系ネットワーク検討委員会の開催 (徳島河川国道事務所)
- 吉野川水系河川整備計画の点検について意見を聴くための学識者会議の開催

いきいき四国ー12月配信版.txt

- 徳島南環状道路（上八万町下中筋～八万町橋北）が開通
(徳島河川国道事務所)
- 四国横断自動車道（小松島IC～徳島東IC）沖洲地区の橋梁工事に着手
(徳島河川国道事務所)
- 長安口ダム改造事業
(那賀河川事務所)
- 無堤地区の解消
(那賀河川事務所)
- 「川崎床固工・川崎水辺の楽校」完成式について
(四国山地砂防事務所)
- 大規模土砂災害を想定した訓練を実施しました！
(愛媛県西条市：加茂川流域) (四国山地砂防事務所)
- 国道11号 大内白鳥バイパスが昨年に続き部分開通
(香川河川国道事務所)
- 土器川改修事業（土器・飯野箇所）用地取得に着手
(香川河川国道事務所)
- 松山外環状道路インター線（市坪IC～余戸南IC間）延長1.8kmが開通
(松山河川国道事務所)
- 宇和島道路が全線開通
(大洲河川国道事務所)
- 上老松地区整備事業竣工式
(大洲河川国道事務所)
- 『今しか見れない』世界最大級の鹿野川ダム改造事業【見学者増加中↑】
(山島坂ダム工事事務所)
- 「直轄高知海岸整備事業における暴力団等反社会的勢力からの不当要求行為等対策連絡会」を設
(高知河川国道事務所)
- 「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業」の進捗について
(高知河川国道事務所)
- 不破堤防事業竣工式典を開催
(中村河川国道事務所)
- 幡多を繋ぐ「命の道」！着々と進む「四国8の字ネットワーク」整備！！
(中村河川国道事務所)
- 横瀬川ダム「平成31年度完成を目指して」
(中筋川総合開発工事事務所)
- 中筋川ダム「第20回蛍湖まつり開催」
(中筋川総合開発工事事務所)
- 道路啓開訓練を実施しました
(土佐国道事務所)
- 宮前地区地すべり対策事業
(吉野川ダム統管理事務所)
- 上半期のダム放流について
(野村ダム管理所)
- 「第1回くいしんぼマラソンin仁淀川町」が開催されました
(大渡ダム管理所)
- 安全・安心・快適な研修を目指した、研修施設の耐震改修工事が完了します
(四国技術事務所)
- 徳島小松島港沖洲外地区複合一貫輸送ターミナル整備事業について
(小松島港湾・空港整備事務所)
- 海面清掃船兼油回収船「美讃」の一般公開
(高松港湾・空港整備事務所)
- 東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の起工式を開催
(松山港湾・空港整備事務所)
- 高知新港に初寄港&過去最大の大型外国客船「セレブリティ・ミレニアム」
(高知港湾・空港整備事務所)
- 「四国のみなと特別講演会2015」開催
(高松港湾空港技術調査事務所)

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

「いきいき四国通信」に関するご意見等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》

***** 「いきいき四国通信」事務局 *****
「いきいき四国通信」の配信中止・配信先変更のご希望がありましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

国土交通省 四国地方整備局 企画部
【担当】石井（内3126）、仙波（内3176）
〒760-8554 高松市サンポート3番33号
電話(087)851-8061/FAX(087)811-8408
<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>
《平成27年2月からメールアドレスが変わりました》